

加工・業務用に適した

種子なしピーマン

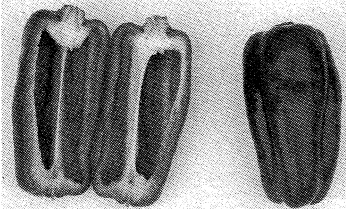
横浜植木
「タネなっぴー」

とが可能。苦味も非常に少ない。

ピーマンの花は両性花で1つの花に雌ずいと雄ずい(約)がある。開花期に雄ずいが裂開し花粉が雌ずいに受粉すると果実になるが、「タネなっぴー」は約の中に花粉がなく、受粉できない。ただし、受粉しなくても果実となる単為結果性も持ち合わせている。受粉していないため、種子の入らない果実となる。

苗は全国400店以上のホームセンターや種苗専門店で購入。

横浜植木(有吉和夫社長、横浜市南区)は、種子なしピーマン品種「タネなっぴー」を改良し、新たに苗を発売した。



同社では世界に先駆けて種子なしピーマンの品種を開発し、2年前より「タネなっぴー」の名称で販売を開始。この技術の特許を2010年に取得している。このたびの改良では、実成りを向上させることで収量性がアップした。種子を気にせず果実をカットでき、業務、加工用にも適している。肉詰めもへたを切り落として筒状に詰めるこ